

# 社協 みうら

164

May 2015

地域福祉の総合情報誌

三浦市総合福祉センター

〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3

事務局（総務課・地域福祉課・事業課）

TEL 046-888-7347 / FAX 046-889-1561

発行責任者：川崎喜正

編集人：出口道夫

## 地域のためにできることを。

### みうらの至福人

「福祉、ふくし」と言い続けるといつの間にか「至福」になる。みうらの地域福祉を優しく支える「至福人」をシリーズで紹介するコーナーです。今回ご紹介するのは、三浦市身体障害者福祉協会会長の飯島定夫さんです。「会員の年齢層が上がり、長年協会で行ってきたフリスビーやダーツといった競技をやる人が減ってきた。会の集まりに足を運べなくなった会員のところには役員で訪問し、顔を合わせるようにしています。」現在会員を募集しているとのこと。また飯島さんは、自家製野菜を「どんまい」の食材にと度々ご寄附くださいます。「実家が農家だから、地域のためにできることは協力したい。」と、支え合いの精神を体現し続ける飯島さんです。（杉崎）

#### みうらの至福人—飯島定夫さん

特集・三浦市社協 平成二十七年度事業・予算の概要

三浦市総合福祉センターからのお知らせ

レポート・おかえりなさいプロジェクト

自立相談支援センターいっしょー生活困窮者支援事業開始

「どんまい」が就労移行支援事業を始めます

三浦市ボランティア情報

居宅介護支援最前線—ケアマネジメントセンター「アンド」

福祉施設訪問記—介護付有料老人ホーム 油壺マリーナヒルズ

元気！社協の職員

狩倉弁護士ワンポイント法律相談

平成 27 年度採用職員のご紹介

ありがとう高齢者ふれあいセンター

児童発達支援事業所HUGくみ 春の遠足

三浦市市制 60 周年・三浦市社協設立 60 周年記念福祉講演会のお知らせ

福祉カレンダー



## 60年の節目の年に飛躍を誓う！

### 重点目標

- 1 総合相談事業（生活困窮者自立支援事業）の充実
- 2 地域リハビリテーション事業の充実と地域包括ケアシステムの整備
- 3 福祉コミュニティの創造
- 4 福祉人材養成事業の充実
- 5 三浦市社会福祉協議会設立 60 周年事業の実施



事業計画・予算書の全文は公式 HP よりダウンロードできます。  
<http://www.shakyo-miura.com>

この一月一日、三浦市は市制施行六十周年を迎えました。実は我が三浦市社会福祉協議会も三浦市の施行と時を同じくして設立されたのですが、そのことは、あまり知られていません。今から六十年前に任意団体として産声をあげた当協議会、初代会長を務めたのは、私の祖父にあたる当時の三浦市長、川崎喜太郎です。私事になつてしましますが、あれから六十年、私がこうして会長を仰せつかっていることを考えると、特別の感慨を抱かざるを得ません。平成二十七年は、こうした節目の年にあたるので

この大切な年に、当協議会は、五つの重点事業をもって臨みます。

そのひとつが、総合相談事業のさらなる充実です。なかでも、生活困窮者自立支援法に基づく相談支援事業がこれに加わることは、特筆すべきことで

しょう。生活困窮者の支援に向けては、重要な四つの基本的な視点があると考えられています。①自立と尊厳②つながりの再構築③子ども・若者の未来④信頼と支えあい―がそれで、これを①包括的・個別的②早期的・継続的③分権的・創造的な3つの支援方策によって実現しなければなりません。我々は、こうした理念の実現に最も重要なファクターを「総合相談

力」と位置付けています。当協議会では、生活福祉資金の貸付、日常生活自立支援事業や法人後見の受任、ボランティア・市民活動の推進、就労支援事業の実践、地域包括支援センターの受託や介護保険事業の実施、そして、障害児者の相談支援事業の実施など多様な相談窓口を持つているわけですが、この複数の相談機能を再統合し、包括的に生活困窮者を支援することが、今、強く求められています。一方で、地域社会に潜

する生活問題をその地域社会の中で解決しようという試みは、つまり、日常生活圏域において、総合相談システムを地域社会の特性を活かしながら構築することと同義でもあります。それはまさに、社会福祉協議会に課せられた使命でもあります。ことさら我々が、この総合相談力の獲得に傾注する理由もそこにあります。生活



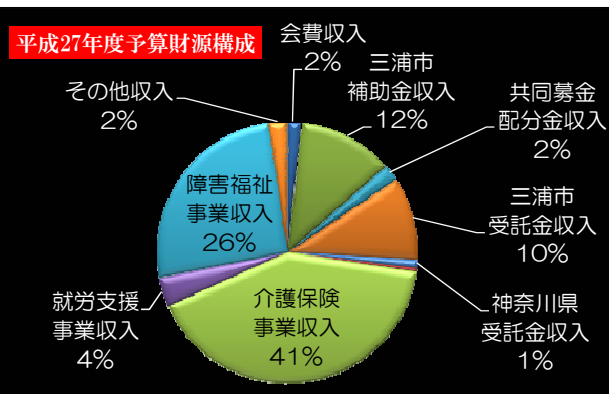
「三浦市地域福祉センター」に新設された特設リハ・ルーム。

困窮者自立支援事業への取り組みは、地域福祉を推進するためのツールであり、生活困窮者の支援のみをゴールとするものではありません。生活困窮者自立支援事業への取り組みを通して地域福祉のさらなる推進をめざすことにあるのです。また、団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年を目途に、重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現に向けて邁進する覚悟です。そのため、福祉コミュニティの創造と福祉人材の養成に全力を傾けます。具体的には、地方自治法に基づいて指定管理する三浦市地域福祉センターにリハビリルームと地域の高齢者が自由に利用できる市民交流ルームを新設し、当該施設が本来の役割を果たせるようリニューアルするとともに、介護予防の新たな拠点として再生させます。

なお、人材養成に関しては、局内に「介護職従事者等人材養成・研修センター」を併設し、専任の担当主幹を配置する考えです。

平成二十七年予算は、これらを新規事業として予算編成されました。もとより、その道のりは多難なものとなるでしょう。しかし、だからこそ市民協働の姿勢を崩すことなく、山積する生活課題の解決に向けて確実なる

歩みを進める所存です。



### 【解説】

平成27年度における財源構成比率は、左グラフのとおりとなります。会費を除く事業収入で7割を超えています。いわゆる事業型社協と呼ばれる所以ですが、収入の6割強を地域福祉事業に繰り入れていることを考えると(残額は各基金の造成と三浦市総合福祉センターの修繕費用に充当)、“事業型社協”というよりも社会福祉協議会の使命を順守した“経営型社協”という表現の方がより妥当かも知れません。三浦市からの補助金は1割強。地方自治法において「普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄附又は補助をすることができる。」(第232条の2)とされており、これを根拠に補助していただいたものです。委託事業に関しては役務の対価となりますが、例えば同じく地方自治法に基づいて指定管理する三浦市地域福祉センターなどは、昨年度から委託料ゼロで、これを受託し施設管理をおこなっています。これについても、介護保険事業等の収益が充てられています。

平成二十七年三月  
 三浦市社会福祉協議会  
 会長 川崎 喜正

# The first page special feature

## 一般会計及び特別会計収入支出予算書総括表

拠点区分	本年度予算額
一般会計（社会福祉事業拠点区分）	322,226,000
特別会計（収益事業拠点区分）	6,600,000
合 計	328,826,000

平成 23 年 7 月 27 日付で、厚生労働省から社会福祉法人新会計基準の制定にかかる通知がありました。これによって、新会計基準については、平成 24 年 4 月 1 日から適用されましたが、平成 27 年 3 月 31 日（平成 26 年度決算）までの間は、従来の会計基準によることができるとする経過措置期間が設けられたため、本会でも、この経過措置期間は旧会計基準を準用してきました。今般、この経過措置期間が満了することから、平成 27 年度より新会計基準に移行することとなりました。そこで、新会計基準の制定を受けて全国社会福祉施設経営者協議会が作成した「社会福祉法人モデル経理規程」に基づく規程の改廃などの事務手続きを済ませ、下記の会計区分に基づいて、予算を編成しました。

（単位：千円）

拠点区分	地域福祉推進事業拠点区分					介護保険事業拠点区分	障害者自立支援事業拠点区分			収益事業区分	法人合計
サービス区分	法人運営	地域福祉推進	人材養成研修	共同募金配分	総合相談	介護保険	障害者就労支援事業	障害者デイサービス	児童デイ HUGくみ	収益事業拠点区分	
サービス区分細目 科 目							就労支援どんまい	ゆずりハ	HUGくみ	総合福祉センター貸館事業	
会費収入	5,200	0			0	0	0				5,200
寄付金収入	650	0			0	0	0				650
三浦市補助金収入	37,648	509			658	0	0				38,815
神奈川県補助金収入	0	100			0	0	0				100
共同募金配分金収入	0	0		6,650	0	0	0				6,650
三浦市受託金収入	0	0			33,654	0	0				33,654
神奈川県受託金収入	0	0			3,606	0	0				3,606
事業収入	0	115	1,000		328	0	0		75		1,518
介護保険事業収入	0	0			20,972	113,601	0				134,573
就労支援事業収入	0	0			0	0	11,652				11,652
障害福祉サービス等事業収入	0	0			5,171	0	15,404	27,826	36,612		85,013
その他収入	0	420			0	180	0	195		6,600	7,395
<b>収入合計</b>	43,498	1,144	1,000	6,650	64,389	113,781	27,056	28,021	36,687	6,600	328,826
人件費支出	48,968	0	166		45,322	59,885	15,193	18,141	18,073		205,748
事業費支出	12,488	8,745	936		8,704	26,036	113	8,903	3,991		69,916
事務費支出	2,718	18			1,690	2,882	0	428	174		7,910
就労支援事業支出							11,331				11,331
助成金支出		3,400									3,400
その他支出		1									1
<b>事業活動支出計</b>	64,174	12,164	1,102		55,716	88,803	26,637	27,472	22,238		298,306
事業区分間繰入金収入	6,600										6,600
サービス区分間繰入金収入	42,724	11,020	102		1,936		63				55,845
<b>その他の活動による収入合計</b>	49,324	11,020	102		1,936		63				62,445
事業区分間繰入金支出										6,600	6,600
サービス区分間繰入金支出				6,650	9,154	24,561	482	549	14,449		55,845
退職手当積立預け金支出	2,992				1,455	417					4,864
<b>その他の活動による支出合計</b>	2,992			6,650	10,609	24,978	482	549	14,449	6,600	67,309
<b>当期資金収支差額合計</b>	25,656										25,656
老人福祉振興基金積立金					2,509	9,493	0		4,414		16,416
地域福祉振興基金積立金					3,859	0	419	549	4,413		9,240

平成二十七年 度 社会福祉法人三浦市社会福祉協議会事業別財源別一覽表

## 三浦市総合福祉センターからのお知らせ

## Important news

### 三浦市社協・三浦市社協職員会が寄付！

地域をつなぐはつらつフェスタとみうら市民まつりにおいて「南三陸町ぬくもり物産展」をおこなった際の売上金を南三陸町に寄付させていただきました。お買い上げにご協力いただいた皆様！ありがとうございました！（杉崎）



寄付総額は 8 万円。南三陸町出身の三浦地域資源ユース株式会社・千葉智総務部長に寄付金を届けていただきました。写真は千葉部長（右）と遠藤健治副町長です。後日、丁寧なお礼状も頂戴しました。

### 三浦市総合福祉センターのご利用要件が変わります！

#### 貸館の利用について

- ①5月より貸館の利用時間を原則として、月～金曜日の8時30分から5時までとさせていただきます。印刷機のご利用も同様です。
- ②社協の事業で使っている時は貸出はできません。
- ③4月以降の貸館については、社協会員、賛助会員の方が優先となります。（出口）

※最近、壁紙や備品の破損が多く見受けられます。このセンターの運営は、市民の皆様からのご寄附や会費で運営されています。破損された場合、速やかに職員にお申し出ください。利用者の過失により修繕等が発生した場合は、実費を請求させていただきます。また、駐車スペースには限りがございます。来館の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。なお、小さいお子様をお連れの方は、お子様から目を離さないようお願いいたします。駐車場などで絶対に遊ばせないでください。

三浦市総合福祉センターのご利用は… ☎888-7347



## 三浦市社協「おかえりなさいプロジェクト」



三浦市社協事業課長 成田慎一

このプロジェクトを通じて、今年三月、無事在宅復帰をされたM氏をご紹介します。尚、この事例を本紙に掲載するにあたり、M氏ご本人の許可をいただいております。M氏は四十代の女性。難病と両股関節の疾患を抱えられています。昨年三月、M氏の療養のためご家族で、この三浦市に転居して来られました。ところが、新しい環境に慣れないこともあって、転居後すぐに体調を崩し、入院してしまいます。その後、徐々に体調も回復し、三浦市（福祉事務所）の紹介を経て、同年七月から当会の地域活動支援センター「ゆずりハ」を利用するよう

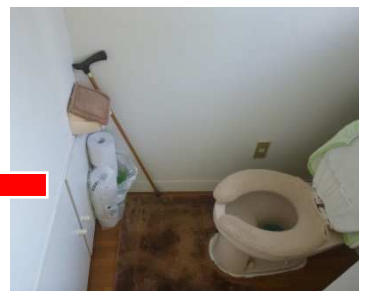
おかえりなさいプロジェクトとは、脳卒中をはじめとする脳血管疾患、骨折・関節疾患をはじめとする運動器疾患などにより入院生活を余儀なくされた方々の、退院後の療養生活を安心・安全なものとするため、理学療法士・地域包括支援センターのスタッフ、一級建築士らがチームを組んで在宅療養環境を整えるパッケージサービスのことをいいます。プロジェクトのメンバーが、当該者の自宅を訪問し、必要な福祉用具の提案・選定や住宅改修等の環境整備、退院後の食生活の指導に至るまでをセットにご提供するというものです。

うになりました。当初は熱心にリハビリにも取り組まれ、杖で屋外を歩行することができるようになりました。そうした中、ご家族より「夜間のトイレ誘導の際に、手すりがなく大変だ。」という住宅改修の相談を受けました。当会では、一級建築士による巡回相談も実施しているのですが、これに繋げるため、事前に相談員と自宅を訪問し、トイレ周りの環境やトイレまでの動線などを調べました。その後、八月に一級建築士と共に再度訪問。トイレと浴室に手すりを設置すべく、取付け図面の作成と見積りの徴収までをスムーズに終えました。併せて身体障害者手帳の取得が済んでいたため、ご家族に交付の手続きを依頼しました。その際も、ご家族が安心して手続きを済ませられるよう、市役所や病院とのやり取りのお手伝いをさせていただきました。しかし、M氏を支えるチームづくりが始まった矢先、暑い夏が続いていた九月から、M氏は入退院を繰り返すように



平成27年4月、退院後のM氏歩行器歩行の状況

なり、遂に十月に緊急搬送され、長い入院生活を余儀なくされてしまうのです。通常であれば、ここで一旦M氏の支援は中断してしまうのですが、ご家族と相談員間の連絡は途切れることなく続きました。転居後間もないM氏ご一家にとって、当会の総合相談事業は非常に頼りになったよう



↑平成26年8月、初回自宅訪問の際のトイレ。  
←平成27年2月、住宅改修完了時のトイレ内手すり

です。そして、十一月に入り、入院していた病院のケースワーカーより、M氏を交えて担当者会議をおこないたいとの申し入れがあり、今度は当会の「おかえりなさいプロジェクト」を通じて、在宅復帰を支援することになったのです。これによって一度は止まりかかっていた住宅改修も動き始めました。十二月にはご家族のご意向を伺うため、三度ご自宅を訪問。その結果、急速に退院の話が進むことになるのです。しかし、当会としては、未だ身体障害者手帳の取得が進んでいないことや自宅のバリアフリー化が進んでいない現状から、このままでは、M氏が自立した在宅生活をおこなうことは困難であると考え、その旨を説明し、退院を一時延期していただくことにしました。そして、今年に入り、一月の担当者会議を経てから、いよいよ退院に向けての動きが活発化してきました。同月末、身体障害者手帳を取得。二月半ばにはトイレ等の手すりの設置工事が完了しました。こうして退院するための環境が整い、M氏と共に退院前の自宅の評価をおこなうことに。その際には、福祉用具の業者にもチームへの参加を求め、車いすの選定や一段差の解消も必要ことがわかりました。退院を待ちわびるM氏でしたが、最終的な調整が残っていることや、まだ病院でのリハビリが必要であることを伝え、退院を励みに、リハビリに努めていただくことにしました。その努力の甲斐もあって、三月十七日、主治医やM氏を交えた担当者会議において、待ちに待った、退院が決まったのです。M氏が楽しみにしているのは、当会の「ゆずりハ」に通うことと、ご家族の手料理を食べること。二十三日に退院してからは、目標どおり「ゆずりハ」に元気に通われ、リハビリにも意欲的に取り組んでいます。特に四月にオープンしたばかりのリハビリ室の利用を心待ちにしています。

今回のM氏の件だけでなく、当会には杖やスロープに関する相談が多く寄せられます。その都度迅速に対応しておりますが、単に、サービスに繋げるだけでなく、在宅生活をアフターフォローすることのできる「おかえりなさいプロジェクト」と地域福祉センターの新しいハビリスを在宅復帰推進の両輪として是非、ご活用いただきたいと思います。

# 自立相談支援センター「いっしょ」生活困窮者支援事業開始



自立相談支援センター「いっしょ」のスタッフ。左から鈴木光永、前田佐知子、落合睦美

自立相談支援センター「いっしょ」  
三浦市総合福祉センター「安心館」内  
〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3  
TEL 888-7347 / FAX 889-1561

近年の社会経済環境の変化に伴い、生活困窮に至るリスクの高い人々や稼働年齢層を含む生活保護受給者が増大しています。この三浦市でも、市民生活を重層的に支えるセーフティネットの構築が急がれていました。こうした状況に対応するために整備されたのが、生活困窮者自立支援法です。三浦市社会福祉協議会では、この法律に基づいて実施する「生活困窮者自立支援事業」を三浦市から受託し、この四月から実施することになりました。新し

い生活困窮者支援体系の構築と生活保護制度の見直しに総合的に取り組むことが目的です。

三浦市社会福祉協議会では、この事業を自立相談支援センター「いっしょ」で取り扱います。「いっしょ」が実施する生活困窮者自立支援事業は、受託事業、自主事業併せて、大きく次の四つの事業となります。

## ① 自立相談支援事業（受託事業）

生活困窮者の相談に応じ、生活困窮者が抱える課

題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認することを通じて個々人の状態にあった支援計画の作成等をおこなない、②から④までの事業や「住宅支援給付事業（申請手続きの支援を含む）」などの関係事業との連携を含めた支援を包括的におこないます。そして、三浦市（福祉事務所）やハローワーク、地域包括支援センター等の関係機関とのネットワークづくり、社会資源の開発をめざします。

② 就労促進のための支援事業（自主事業）  
短期間の集中的な就労支援をおこなっても一般就労に就くことが困難な層に対し、支援付きの就労の機会を提供する就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）をおこなう事業者の育成支援を本会が運営する就労支援センター「どんまい」との協働においておこないます。

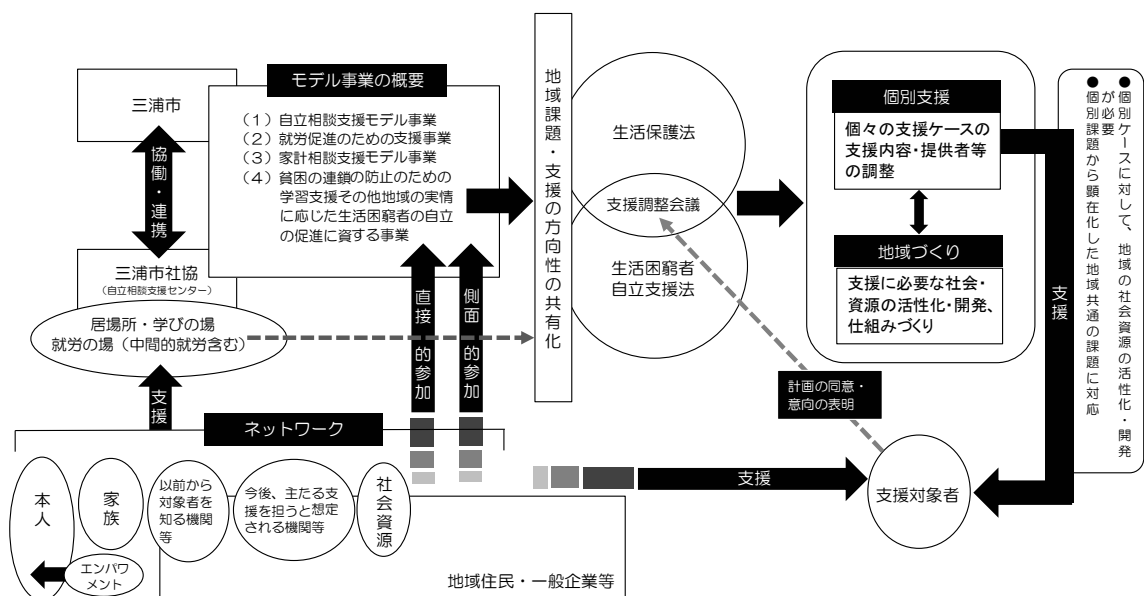
③ 家計相談支援事業（自主事業）  
生活困窮者の家計の再建に向け、家計収支全体の改善を図る観点から、家計に関する相談に対応し、家計管理に関する指導、生活福祉資金の貸付けの斡旋等の支援をおこないます。このため「いっしょ」のスタッフは、ファイナンシャルプランナーの資格を取得しました。

## 事業

④ 貧困の連鎖の防止のための学習支援その他地域の実情に応じた生活困窮者の自立の促進に資する事業（自主事業）  
大学生や教員OBをボランティアで募り、かつ、組織化（三浦市ボランティアセンターの登録団体として）し、学童に関しては、復習と宿題といった基礎的な学習機会を中心に、また、生活困窮により学習機会を得られなかった成人に関しては、学び直しの機会を提供していきます。

自立相談支援センター「いっしょ」では、生活困窮者自立支援事業の他に、法人後見事業や日常生活

活自立支援事業といった権利擁護事業や生活福祉資金の貸し付け事務もおこなない、生活困窮者の総合的な支援をおこなっていきます。（前田）



左図は、三浦市社会福祉協議会が想定する「生活困窮者自立支援事業」の概念図。三浦市との連携なくして、この事業の実現がないことがわかります。また、多様な主体の参加が求められます。



# 「どんまい」が就労移行支援事業を始めます

三浦市初の就労継続支援B型事業所として親しまれてきた「どんまい」が、新たに就労移行支援事業も始めることになりました。これを機に名称も「就労支援センターどんまい」に改めます。

どんまいが実施する、就労移行支援事業の主なメニューは次のとおりです。

- ① 就労体験機会の提供
- ② 生産活動その他の活動の機会の提供（喫茶（コーヒー）及び売店（加工食品の販売。手づくり弁当、マグロの角煮等）の営業を通じて接客、マーケティング

- ③ 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供（パソコン教室・就労に関する学習会・ビジネスマナー教室）
- ④ 職場実習の実施、受入先の確保・施設外就労の実



三浦市総合福祉センター1階ロビーに開店した就労支援センター「どんまい」が営業する喫茶「三遊間を抜けました」。美味しいコーヒー、紅茶といったソフトドリンクが100円均一。焼きそばやナポリタン、カレーライスといった軽食も楽しめます。他に自家製無農薬野菜なども低廉な価格で販売します。皆様どうぞお気軽にお越しください。大好評のマグロの角煮は、地方発送承ります。

- ⑤ 公共職業安定所での求職登録等、求職活動の支援（職業安定所への同行）
- ⑥ 適性や要望に応じた職場開拓

- ⑦ 職場定着を促進するための職業生活における相談等の支援の継続
- これによっていわゆる「ダイレクトB問題（特別支援学校を卒業するなりB型を利用すること）」に対応していくこととなります。本来、B型事業の利用は「企業に勤めたけれど、様々な事情で離職した」とか「企業就労を目指したものの、就職先のご縁がなかった」あるいは「年齢が五十歳を超え、企業就労はなかなか難しい」といった当該者を対象とした事業ですから、地域移行支援事業を実施することによって、より法の理念に則った事業展開を実践することになります。（山中）

ご利用のご希望は8八八―七六五五まで。

## 仮想避難所一泊二日体験

参加者募集中

三浦市社協としては初めての試みとなる被災時を想定した実践的な避難所体験会をおこないます。

実践的とする所以は、①仮想避難所で宿泊体験をおこなうということ（就寝時は段ボール一枚と毛布のみを支給）にあります。就寝時間は二〇時。真つ暗闇で何もすることがない中、固い床の上で朝まで眠ることができないでしょう。また、②一日目の夕食と二日目の朝食は、限られた食材・限られた調理器具で自炊していただきます（非常食の試食含む）。

それ以外にも、日頃家庭でできる備えや、避難所で発生しやすい病気とその予防策、避難所における高齢者や障害者とのコミュニケーションの取り方についての学習や、グループワークなどもおこなう予定です。親子での参加も歓迎します。奮ってご参加ください。

\*\*\*

日時：平成二十七年六月六日（土）十五時～

七日（日）十時 ※雨天決行

場所：三浦市総合福祉センター

参加募集人数：十五名

※お申込み・お問合せ：三浦市社会福祉協議会事務局（杉崎）8八八―七三四七まで

## 三浦市ボランティア情報

888-7347



## 寄託

社会福祉事業のために（敬称略）

▽中澤一江▽佐藤和子▽匿名

## 訪問歯科診療

歯のお医者さんと歯のヘルパーさんがお宅に伺います！

- 訪問歯科診療を通して、高齢者の口腔衛生の向上を支援します。
- 歯科治療でお困りの高齢者と家族をサポートします。身体介護が必要な高齢者や障害者のために往診します。往診のご用命はお電話で！

大矢部歯科医院 046-833-5809

238-0224 横須賀市大矢部 2-5-20 あづまビル（Ⅱ）1階



介護付有料老人ホーム

Sアミーユ三浦 入居一時金無料

16万8250円（税込）

家事、食事（30日の場合）、管理費込み。介護サービスの1割負担金、居室電気代、居室上下水道代、おむつ代などは別途必要となります。

徹底した個別ケア。キッチン・浴槽等を完備した完全個室。

ご見学随時承っております。

■お問い合わせ先：TEL046-880-0711

担当・高羽

仏壇・仏具・お数珠・線香

## 篠田仏具店

お使い物用から、ご自宅用まで100種類のお線香からお好みの香りを見つけてください。

市内配送無料！

〒238-0235 TEL/FAX 881-4714 木曜日定休／営業時間午前9時～午後7時



## 福祉施設訪問記

〒238-0224 三浦市三崎町諸磯 1523-1

☎046-880-1828

### 第13回

現場で経験を積み、昨年の十月から施設長に。入居者を対象とした、理学療法士による機能訓練に加え、職員にも認知症ケアの講習会を開くなどサービスの向上に余念がありません。また、ボランティアによる催し物も定期的におこなない、食事には三浦の野菜を使うなど、地域密着型の家庭的な老人ホームをめざしています。屋上からは、諸磯湾と富士山を一望することができます。豊かな自然に囲まれた施設です。(石渡)



開設七年目を迎える油壺マリナヒルズ。竹澤孝子施設長(写真)は、老健

## 今村和弘さん(七十九歳)

三浦市南下浦町上宮田



ベテラン漫談家のような、味わい深いしみじみとした語り口の今村さん。

阪神タイガースファンで、できるようなになり、とアンノ今村さんは、大にも便利になった。」  
阪生まれ。五十年前三 阪神タイガース以外にも水泳、カメラな  
浦市に越してこれれ ました。「海も(自宅)ど幅広いご趣味をお  
の)目の前で、空気が 持ちの今村さん。カメ  
きれい。」とこの地を ラについては、東京新  
称賛されます。 聞の写真コンクール  
アンドを利用して に入選したことがあ  
の感想を伺うと「介護 るほどの腕前です。今  
保険についてほとん 後やってみたいこと  
ど知らなかった。ケア を伺うと「リハビリに  
マネージャーに相談 挑戦して、美しい三浦  
すること、使いやす の海を撮影しに行き  
いベッドや室内の手 たい。」と新たな目標  
すりなど、自分に合う を見つけられたよう  
ものに囲まれて生活 です。(杉崎)

総合相談支援センター「安心館」内「ケアマネジメントセンター アンド」のお問い合わせは☎046-888-7347 (代表)

## Special report

### 狩倉弁護士のワンポイント法律相談

法律相談の日程は、裏面の福祉カレンダーをご参照ください。

### 元気！社協の職員 File No. 13



(本人談)

の方お一人お一人の自立した生活を継続する為のお手伝いをこれからも頑張つて行きます。よろしくお願い致します。

定年退職後、第二の職場として、福祉の仕事に携わりたいという思いが強くあり、障害者デイサービスゆずりハで働き始めて五年目になります。主に送迎時のドライバー・機能訓練のお手伝いをしていきます。常に心がけていることは、利用される方が安全にセンターに来所され、一日充実した時間を過ごしていただくことだと思っています。そして自宅に気持ち良く帰宅してもらうことだと考えています。利用者さんとの会話もとても楽しみです。四月から、新たに設備の充実した機能訓練室で理学療法士・スタッフの方達と一緒に、利用者の方お一人お一人の自立した生活を継続する為のお手伝いをこれからも頑張つて行きます。よろしくお願い致します。

加藤 政夫 (運転員)

Q 近所に郊外型の大規模店舗ができたため、会社の経営が行き詰まり、融資の目途も立っていません。苦渋の選択として従業員の人員整理を考えていますが、どのように手続きを進めるべきでしょうか？

A 会社の経営再建のために人員整理が必要である場合であっても、「客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当である」と認められない場合には、解雇は無効となります(労働契約法十六条、慎重な対応が必要です(労働契約法十六条、慎重な対応が求められます。これまでの裁判例では、①人員を削減する必要があること、②解雇を避けるために努力をしたこと、③解雇される者の選び方が合理的であること、④解雇までの手続きが妥当であることの4つの要素が、解雇が有効となるか無効となるかの判断のポイントになっています。以上の要素から手続の進め方を考えると、まず、上記①については、経営の合理化などを図ることもなお人員整理の必要があることについて、決算書などの具体的な資料に基づいて説明できるようにしておく必要があります。次に、上記②については、従業員

に十分に事情を説明したうえで、配置転換や希望退職者の募集を行い、解雇以外の手段で経営再建を達成できるようまでできる限りの措置を講じる必要があります。それでも解雇以外に方法がない場合、上記③について、対象者の選定基準を作成する必要があります。勤務成績、会社への貢献度、解雇による経済的打撃の大きさなどが選定にあたっての要素となります。例えば、性別を理由とした「誠実」「勤勉」などといった抽象的な基準による選定は、合理的なものとは認められない可能性があります。さらに、従業員への選定基準の適用においても公平になされるべきことが求められます。以上の過程において、上記④に関し、労働組合または労働者(少なくとも労働者の過半数を代表する者)に十分な説明を行い、協議を尽くすことも重視されていますので、上記①から③を形式的に満たしていても、十分な説明を尽くさない抜き打ち的な解雇は無効となる可能性が高いといえます。(担当・加藤修一弁護士)



三浦市地域福祉センターの市民交流室(洋室・和室各1室)を、市民活動団体等に開放しています。地域福祉センターにおけるサロンと貸館(有料・要予約)についてのお問い合わせは、☎881-7770 まで。



## 福祉カレンダー

### 2015 年 5 月

- 13日 一級建築士住宅改造相談
- 16日 個別療育相談
- 17日 個別療育相談
- 22日 予防体操教室  
(あんじゅ三崎口)
- 22日 無料法律相談  
(総合福祉センター)
- 27日 リハビリ体操教室  
(地域福祉センター)
- 27日 どんまい市役所弁当販売
- 28日 遊びの広場きらきらキッズ

### 2015 年 6 月

- 6日 仮想避難所 1泊2日体験
- 7日 仮想避難所 1泊2日体験
- 10日 一級建築士住宅改造相談
- 20日 個別療育相談
- 21日 個別療育相談
- 24日 リハビリ体操教室  
(地域福祉センター)
- 24日 どんまい市役所弁当販売
- 25日 遊びの広場きらきらキッズ
- 26日 予防体操教室  
(あんじゅ三崎口)
- 26日 無料法律相談 (はにかみ屋)

### みうらふれあいサロン情報

#### 2015 年 5 月

- 11・18日 地域福祉センター
- 13・20・27日 三浦漁村センター
- 14・21・28日 勤労市民センター

#### 2015 年 6 月

- 1・8・15日 地域福祉センター
- 10・17・27日 三浦漁村センター
- 11・18・25日 勤労市民センター

この予定は、予告なく変更される場合があります。各予定のお問い合わせは…

☎888-7347

## 平成 27 年度採用職員のご紹介

information



三浦市社会福祉協議会では、平成27年度に新たに 5 名の職員を採用しました。後段左から山崎まさみ(居宅介護支援事業所アンド)、前川和子(居宅介護支援事業所アンド)、齋藤あゆみ(児童発達支援事業所 HUG くみ)、加藤将理(地域包括支援センターおまかせ)、齋藤清香(地域包括支援センターおまかせ)。入職初日には、三浦市長からも激励されました。(出口)

## ありがとう高齢者ふれあいセンター

information



介護予防の拠点として親しまれてきた「高齢者ふれあいセンター」が 3 月 31 日付で閉館されました。最終日には指定管理を受けていた三浦市社会福祉協議会が「ありがとう高齢者ふれあいセンター～お別れのつどい」を開催、同施設の生みの親でもある杉山実副市長も駆けつけてくださり、共に別れを惜しましました。延5万人を超える利用者の“生きがい”づくりに貢献してきた施設が、誕生から 12 年で幕を閉じます。(高井)

## 児童発達支援事業所HUGくみ 春の遠足

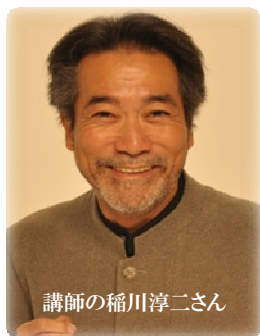
Simple report



3 月 27・30 日の 2 日間、よこはまブルーシアに遠足に行ってきました。両日も天候に恵まれ、普段あまり見ることのない動物たちを見て、喜ぶ子がたくさんいました。青空の下で食べるお弁当は普段食べるお弁当の何倍もおいしかった気がします。子ども達もスタッフも満喫できた遠足になりました。(長谷川)

## 三浦市市制 60 周年・三浦市社協設立 60 周年記念福祉講演会のお知らせ

information



講師の稲川淳二さん

チケットのご購入は  
お早めに！

問合せ・三浦市社会福祉協議会  
☎八八八―七三四七

共催・三浦市ボランティア連絡協議会

主催・三浦市・社会福祉法人三浦市社会福祉協議会

日時・七月五日(日) 十三時三十分から(開場十三時)

場所・三浦市民ホール

入場料・千円(チケット前売り制)

※入場料の一部が被災地支援に充てられます。

「親」としての立場から「自分はこの子の父親である」という事実を受け入れるまでの生々しい心の叫びや、父親としての葛藤についてお話いただきます。(杉崎)

\*\*\*

市制六十周年・三浦市社会福祉協議会設立(任意団体)六十周年を記念して、福祉講演会を開催いたします。講師に、「怪談」でお馴染みの稲川淳二さんをお招きします。タレントやデザイナーなど多方面で活躍されている稲川さんですが、今回は「命・大切に、思うこと」と題し、先天性の重度障害を抱えた息子の「親」としての立場から「自分はこの子の父親である」という事実を受け入れるまでの生々しい心の叫びや、父親としての葛藤についてお話いただきます。(杉崎)

三浦市市制施行六十周年・三浦市社協設立六十周年記念福祉講演会  
「命・大切に、思うこと」

## 株式会社 ルナランド

三浦の介護はルナランドに

●訪問介護は… お任せください！

ルナランド介護センター 889-1088

ルナランド介護センター三浦 874-8013

●デイサービスは…

ルナランドデイサービス 874-8014

●居宅介護支援は…

居宅介護支援事業所ルナランド 874-8015

\*デイサービス、ボランティア募集中！

お気軽にお問い合わせください。

## はなことばデイサービス 緑じよい横須賀

神奈川県内最大級  
デイサービス

デイサービスのご利用が初めての方も  
是非お問い合わせください



〒238-0025 横須賀市衣笠町44-6

☎046-876-5494 (受付時間9:00~18:00)

<http://hanakotoba.co.jp/enjoy/index.html>



羽ばたく翼、  
ともに築く未来

かながわ信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/kanagawa>